



キッズケアルームだより

令和7年9月吉日

8月の利用状況

上気道炎	5名
アデノウイルス	2名
その他	4名

まだまだ暑い日もありますが、少しずつ夏から秋へと季節の移り変わりが感じられるようになってきました。夏の疲れも出てくる頃ですが、子どもは大人と違って自分で気付けません。普段より顔色が悪かったり、食べるのが遅かったり、体を動かしたがりななかったりといった様子が見られたら、疲れのサインかもしれません。十分に体を休ませてあげましょう。



救急の日

9月9日は救急の日。これから過ごしやすくなってくると、子どもの動きも活発になり、ちょっとしたけがをすることもあります。ばんそうこうやガーゼ、包帯などがあるか、救急箱の中身をチェックしておきましょう。また、急なけがや病気のとときの対処法も家族で確認しておきたいですね。



「たかが蚊」とあなどらないで

赤ちゃんの頃は蚊に刺されるとひどく腫れていたのが、成長とともにちょっとふくれて1~2時間ほどで治まるようになってきます。「これなら大丈夫」と思いたいところですが、子どもはかき壊して傷になることがあるので注意しましょう。

虫を寄せ付けない工夫も大事

長袖、長ズボンで肌を覆ったり、虫よけを適切に使うなどで、蚊に刺されるのを防ぎます。



かき壊しから皮膚トラブルになることも

虫刺されをかくて皮膚に傷ができ、そこからばい菌が入り「とびひ」などの皮膚トラブルを起こすことがあります。かき壊しを防ぐためには、次のポイントに気を付けましょう。

① かゆみをやわらげる

かゆみ止めを塗ったり、水で冷やしたりしてかゆみをやわらげます。

② つめを切る

つめが伸びていると皮膚を傷つけます。短く切って角はやすりなどで削ってあげましょう。